

表紙(P1)―別掲

いわて未来研インタビュー

☆ 中心課題は、「国民の生活と福祉・医療—新型コロナ
ウイルス対策とも関連させて」です。 ☆

✿ 高次脳機能障害との共生を ✿



佐柳(さなぎ) 進 さん

(医学博士、特定医療法人茜会昭和病院長、
東亜大学人間科学部特任教授、元国立下関病
院長、元厚生労働省大臣官房厚生科学課長、
元岩手県環境保健部長、山口県下関市)

相原: 私が県環境保健部医務課課長補佐時
代に部長としてご指導頂いて以来、所要
所でご高配・お世話頂き改めて御礼申
上げます。

この度、ご著書「不運を不幸にしない」
をお贈り頂き、早速拝読いたしました
ところ、大変な感銘を受け、あわせて今
回の会報のテーマである医療・福祉に関
連があると感じました。

そこでインタビュー形式で会報に掲
載し、皆さんに広く知っていただきたい
とご相談しましたところ、ご快諾頂き感



「不運を不幸にしな
い—高次脳機能障害
との共生を」

佐柳 進 著

中央公論事業出版

2020.7.24 初版発行

定価 1,500 円+税

謝いたします。

佐柳: 久しぶりにこのようなやり取りがで
きて嬉しく思います。いわて未来研会報
への掲載も大変に光栄ですし、楽しみに
しております。

拙書は、高次脳機能障害を患うことに
なった、私の次女について記しました。
娘は 6 年前、里帰り出産の最中にくも膜
下出血に襲われ、懸命なりハビリを経て
も、重度の障害が後遺しました。

高次脳機能障害者の日々の暮らしは、
身近に遭遇することが無ければ、殆どの
方々にはまだ十分に知られていません。
拙書を手に取って頂き、この障害につい
て大方のご理解を賜れば幸いです。

多様な方々が、それぞれ自分らしく生
きて行ける共生社会を願っています。

— 以下、質問部分を省略 —



● 「第 1 章(前編)まさかの坂」の概要

高梨ひかり、32 歳(当時)、愛称” P ちゃん” は、平成 26 年 6 月 30 日に、下関で里帰り出産を予定どおり迎えていました。父親が病院長を務め、彼女自身も 32 年前にこの病院で生まれていました。

陣痛の最中に突然、くも膜下出血で生死の間をさまよう事態に陥りました。緊急帝王切開、脳動脈瘤コイル塞栓術、脳内血腫除去術、LP シヤント術と次々に手術を受けて、それに続く懸命のリハビリテーションを経て、身体機能は驚異的に回復していきました。

しかし、重度の記憶障害を中心に高次脳機能障害が後遺症として残りました。

突然の発症から 2 年間に渡る生死を掛けた病魔との戦いと、懸命のリハビリを克明に描くドキュメンタリーになっています。

● 「第 2 章(後編)あらたな道へ」の概要

高次脳機能障害と共に生きるあらたな道を歩み始めます。

新しい記憶がほとんど残らないために、前後を読み適切に判断することが難しくなりました。ストーリーを理解できないので、本や TV ドラマには関心がなくなりました。文脈のない” 瞬間” を生きることを余儀なくされます。しかし、家族や元職場の上司、さまざまな周囲の方々に支えられて、少しずつ日々の生活を取り戻しています。

幸い言語機能は保たれ、キーボードを叩き、LINE で交信します。遠隔記憶の幼少期(盛岡)の楽しい思い出は、今も、これからも彼女の大切な宝物になりました。

突然の日より 6 年目、彼女は今、発病前に暮らしていた千葉・市川に戻ろうとしています。重度の高次脳機能障害を患いながらも、



岩手公園
(不萊坊城址)での小
学校時代の
姉妹と愛犬
トン

幸せを求めて創意工夫する日々を、医師である父親の目を通して綴るエッセイ集です。

● 目を開く

平成 26 年 6 月 30 日の緊急帝王切開以降の一連の大手術後、意識が果たして戻るのか、遷延したままなのか、ICU(集中治療室)室長の言葉を引用すれば、「あとは神のみぞ知る領域」に入りました。

7 月 5 日、付き添っていたひかりの姉から、左目がわずかに開いたとの嬉しい情報もたらされました。確かな徴候は、翌 6 日でした。ベッドサイドに詰める私たちの前で、ひかりの左目がわずかに開き、左まぶたが明らかに動きました。翌朝には私たちの呼びかけに反応して左目を開くようになりました。そして 9 日には右目もわずかに開き、回復基調は確かなものになりました。

● なんとか歩き出す

一般病棟に転棟後のある時、ひかりに「リハビリは終わったの?どうだった?」と声を掛けて、車椅子の前に回り、彼女の手を取ろうとしました。その時、彼女のほとんど動かなかった左手が、私に向いて意識的に差し出されました。これが、彼女が意図をもって左手を動かした最初でした。

● 声が出る、しかし記憶がない

小倉リハビリテーション病院へ転院後、気管カニューレ(呼吸を助けるため気管切開

して挿し込まれる管)は、声を出せるスピーチカニューレに取り替えられました。私は、娘の口形模写のような口の動きの裏に、彼女が発する微かな「パパ」の発語をはっきりと聞き取りました。これが、発症後に初めて聞いた、娘からの言葉でした。

しかし、娘とやり取りするうち、あらゆることに「やり方がわからない」という返事が返ってきました。彼女の脳髓から、日々の習慣的な行為、慣習的な振る舞いがことごとく書き消されていました。さらに、自分が結婚したことも、妊娠して里帰り出産中だったことも記憶には残っていないことが分かってきました。幼少期のことは思い出すことができましたが、大学生以降は記憶にないようでした。また、現在の記憶も残らず、人の顔も覚えないことも分かってきました。彼女の脳へのダメージは、手足の運動障害に加えて、かなり重度の高次脳機能障害を伴っていることが見えてきました。

● 一つ一つ身体で覚える

彼女は形の認知機能もかなり障害を受けており、書く字は稚拙でミミズが這ったようになり本人も読み取れない文章になります。

ただ救われたことに、娘の場合、キーボードへの打ち込みの能力がかなり残存されていますので、これを活かそうと考えて、今ではスマートフォンのアプリ「瞬間日記」をダウンロードして、近時記憶の代償ツールとして試みています。体験したことを、その場ですぐに瞬間日記に打ち込むのです。時刻と共に記録されます。後刻その記録を頼りにして、今日何があったかを知ることができる仕組みです。

● 馬が合う支援施設を



親子 3 人
お揃いの
ユニホームで食事
の支度

JR 下関駅近くに障害者福祉のための支援施設となっている軽食喫茶店があります。施設体験という形なら良いとの話で喜んで働かせて頂きました。しかし、娘は終始何をしても良いのか分からず、その都度店側では指示しなければならず、「誰かをいつも張り付けていなければダメ」と言われてしまいました。同行していた妻もひどく落込みました。

娘が心安らかにできる場所、馬が合う支援施設を探す旅を続けなければなりません。

● 市川に戻ろうか

発病からすでに 5 年余りの歳月が過ぎ、私どもはひかりを、一旦市川(千葉県市川市)にある彼女たちの自宅に戻そうかと考え始めています。同市には高次脳機能障害者のための支援施設があり、3 日間の施設体験の結果も上々でした。

「みんなちがって、みんないい」と詠んだ金子みすゞ(山口県出身)の温かい詩を支えに娘は市川に戻ろうとしています。

佐柳: 今夏に拙著を出版し、かなり大きな反響を頂いています。娘の幼少期(盛岡)から含めて書くことで、この障害が当事者にどれほど劇的な変化をもたらすのかを、具体的にイメージできるからと思います。

最後に、娘が大好きな岩手の思い出が、これからも娘の幸せづくりの源泉になることを付け加えたいと思います。

❀ 生協は地域とともに ❀



吉田 敏恵 さん
(岩手県生活協同組合連合会専務理事)

相原: 常日頃のご活動・ご活躍に敬意を表します。この度の会報のテーマ「国民の生活」に関連の深い生協活動についてお聞かせいただきたいと思います。ご協力に感謝します。まずご略歴を伺います。

吉田: 雫石の出身でして、就職先はみやぎ生協でしたが、91年に雫石に戻りいわて生協で消費者運動など担当してきました。県生協連には2010年から出向し現在は県連専務をしています。

— 以下、質問部分を省略 —



● 岩手県生協連設立 50 周年

♥ 岩手県生協連は、1966年に設立され、2016年に50周年記念事業を行いました。県内の生協は「地域に根ざし役立ち・地域から信用され・地域からサポートされる生協をめざして」をスローガンに、みなさまのご支援ご理解のもとにこの50年間確実に発展してまいりました。

県内住民世帯に対する購買生協組合員比率は、20年4月に50%を超えました。全国の生協間比較では組織率が第7位、事業高における食品小売りシェアは7.7%で第5位とい



♠ 岩手県生協連(住所:滝沢市)は、現在18組合を会員とし、会員の総組合員数約48万人、会員生協の出資金約151億円、会員の総事業高約539億円となっております。

会員生協の運動・事業・経営に役立ち、県内に生協への支持・信頼を広げる役割・機能をめざしています。

● 岩手の生協運動

♥ 岩手の生協運動は今日の厳しい情勢を「くらし・いのち・地域・平和・経営の5つの危機」と捉えて対応し、協同組合らしい生協であることと、ICA(国際協同組合同盟)の定義・価値・原則をいつも重視して実践を積み重ねてきました。実践の際に大事なものは、組合員の「出資・利用・運営」の三位一体を絶えず充実させること、生協はあくまで組合員のものであるという原点を貫くことです。

♠ また、組合員の共通のニーズと願いの実現のために、社会的運動体として、また事業経営体としてのバランスを取ることも心がけてきました。社会運動体としては、県内の協同組合の皆様はもとより、平和や民主主義、地域社会を守る諸団体との連帯や共同を固めてきました。岩手県や各市町村行政との連携も年々強化され、広がりを見せています。

◆ 事業経営体としては、産直や地産地消の

事業を協同組合間協同をベースにして発展させてまいりました。中でも「アイコープ商品」(140 アイテム・年総額 10 億円)を、組合員の力、地域の事業者の協力のもとで地場の原材料を使って開発、普及してきました。この単協 PB(プライベートブランド)は岩手の生協の誇りでもあります。

● 岩手県で初めての主婦・消費者による本格的な地域生協づくり

♥ ここで、岩手の生協を語る中で、歴史を振り返り、記念すべき出来事を紹介します。

♣ 1968(昭和 43)年 12 月、牛乳の値上げを「お知らせする」1 枚のチラシが波紋を呼び起こしました。岩手県内の牛乳小売店ならびに大手牛乳メーカーにより、180 ミリリットルびん 1 本あたり 3 円の値上げが強行されたのです。宅配価格は 19 円から 22 円へと跳ね上がり、店頭価格も 20 円から 23 円に引き上げられました。家族の栄養を支えてくれる牛乳が、突然、たった 1 枚のチラシでお正月から高くなるのです。地域の主婦達の間には、怒りにも似た思いが大きく広がりました。

◆ 翌年 2 月 7 日、50 名ほどの主婦が集まり、牛乳の共同購入の会をつくることにし、「盛岡牛乳を安く飲む会」として具体化しました。牛乳の価格は 18 円を目指しました。

しかし当て込んでいた全酪牛乳が離反し取り引きを拒否してきました。他のメーカーも同じで、小売店から「牛乳を飲む会はせつかくの値上げを崩すから取り引きするな」と圧力をかけられるからと、同じように取り引きを断りました。ちょうどその時、県南の東磐井郡大東町(現・一関市)が酪農振興のために誘致していた不二農産工業株式会社の作る不二家牛乳との話し合いが成立したのです。3 月 21 日にはいよいよ牛乳の配達が始



まりました。

その後、清酒の直買い運動、卵の共同購入などが展開され、盛岡市民生協設立へと繋がっていきました。

● 東日本大震災の被災地支援

東日本大震災では会員生協も大きな被害を受けましたが、震災発生から 1、2 ヶ月の支援活動として、避難所への毎日の食料や生活用品の提供、牛丼 1 万食炊き出しプロジェクトの実施、医療支援を行う救援隊の派遣、全国の生協からガソリン等燃料現物支援を受けての災害支援活動展開などを積極的に行いました。支援活動は現在まで継続して行っています。

● 毎年大きく報道されるので質問とこのことですが、県生協連では県内 47,000 世帯の組合員に向けた配達灯油価格を灯油委員会において決定しています。原油価格などの動向を踏まえた難しい判断となります。

灯油に関しては、毎年県に対して、震災被災者を対象とした灯油購入のための補助、いわゆる「福祉灯油」の継続を求めています。

吉田： 私は若い時、生協とは弱い人の立場で物事を考え行動しなければと教えられ、今も迷う時の原点にしています。生協は相互扶助＝共助を、事業や活動で叶え住みやすい地域を作ろうという組織です。でも「共助」では限界があり、「公助」の充実が必要だという声は今後もあげていきたいです。

いわて未来研論壇・随想

❖ 中心課題は、「国民の生活と福祉・医療—新型コロナウィルス対策とも関連させて」です。ご寄稿文は、原文の通りです。❖

❖ コロナ禍と福祉 ❖



村田 清 さん

(福島県運営適正化委員会委員長、しらかわ介護福祉専門学校講師、元大学教員、社会福祉士、会員、福島県西郷村)

福祉施設と実習生

新型コロナウイルスの感染拡大防止と経済活動の両立という困難な状況が続いている。福島県でも、感染者が増え続けている。福島県第2例目の感染者が、私が所属していた大学の同僚教員であったため、大丈夫ですかという問い合わせを何人かの方からいただいた。前年度で非常勤の職を退き、この時期は大学へ行くことがなかったので、心配することはなかった。しかし、大学は卒業式や入学式も中止、授業も見合わせとなり、再開後はリモート授業で教員も学生も大学へはほとんど顔を出すことはなく、夏休みに入った。

私が教授として勤務していた学科は、社会福祉士、介護福祉士、保育士などの福祉系であり、どの学生も現場実習をしなければ、資

養護施設
で実習す
る学生に
抱っこし
てと甘え
る児童



2020年8月

格取得ができないことになる。一方、実習生を引き受ける福祉施設などの事業所は、コロナの感染リスクを避けるために、実習生の受け入れに慎重になる。学生にとっても、後進の育成や採用につなげたい事業所にとっても悩ましい状況であったが、時期をずらし、地域を限定し、学生の行動履歴を確認するなど、工夫をして取り組んでいる。しかし、実習生受け入れを取りやめた施設もあり、大学や学生にとっては実習先確保に苦勞している現状である。学生にとってコロナ禍は、日々の生活やアルバイト、就職活動にも影響を及ぼしている。

福祉現場とコロナ対策の困難性

高齢者施設や障がい者施設は、利用者が重症化するリスクの高い人たちであり、命を守るための対応に細心の注意が払われなければならない。施設にクラスターが発生すると運営困難な状況に陥ってしまう。もともと、介護従事者や保育士などの人手不足が日常化している中で、コロナ感染者が発生する

と、対応する職員の確保が難しく、医療従事者と同様に過重な勤務が強えられる。行政による事業所間の応援体制の構築も取られているが、実際に有効機能するかどうかはわからない。マスクや消毒薬などの必要な物資が夏になってようやく確保されるようになったが、当初は入手が困難で十分な対応が取られなかった。支給されたマスクは、報道されている通り使い勝手が悪く、人手不足の中では洗濯して再利用するよりは、使い捨てマスクがはるかに有効である。今後、コロナ禍と人手不足が長期化すれば、介護ロボットやAIの導入や技術革新がスピードアップする可能性がある。

札幌の高齢者施設でのコロナ感染は次のように報告されている。ある施設では、既にクラスターとなっていた他の施設の医療従事者から介護従事者に感染し、さらにこの介護従事者から利用者に感染が拡大し、この利用者から訪問介護を実施していた別の施設の医療従事者に感染した。介護という業務の性質上、どうしても人との接触を避けることが難しい。このため、福祉サービス利用や提供を控えるということが起こっている。自粛生活によるストレスに加えて、サービスの内容も、集団での活動や食事、家族の面会が制限されるようになり、高齢者の生活レベルが



編集事務局挿入



編集事務局挿入

低下するということが起きている。コロナ禍は、福祉と医療の連携強化、情報の共有化をますます推進する必要性が高まっている。

障がい者福祉では、就労支援の事業所の仕事がなくなり、大きな収入源であったイベントでの販売も中止となり、収入減収となって、利用者への工賃支払いや施設運営に支障が出ている。子どもの施設では、学校が臨時休校措置となり、少ない職員で毎日の児童処遇に手いっぱいである。家庭においては、ステイホームや在宅ワークで生活様式が変化し、親や子のストレスがたまり、子ども虐待や家族不和の増加が報道されている。特に配慮すべきことは、自閉性スペクトル障がいなどの場面変化が苦手な人々への対応である。感染防止のため、いつもの生活が急に変化する場合は、援助者は、本人が混乱を招かないように、丁寧な説明と準備が大切であることを留意しなければならない。

社会福祉協議会が窓口になっている生活福祉資金貸付制度がある。この制度によって、社会福祉協議会は、コロナの影響で失業や休業を余儀なくされている人への小口緊急融資を行っており、利用者や相談をする人が増加して、窓口が対応に追われている。

一方、こうした状況で、福祉や医療従事者への差別や偏見が生じているのは大きな問題である。感染リスクのある中で、感染者や

福祉サービスに従事している職員に対し、いずれ自分にも跳ね返る問題として、思いやりをもって接してもらいたいものだと思っている。

ジェントルティーチングによるかわり

さて、私は対人援助サービスにおいて用いる、アメリカの心理学者ジョン・マクギーが提唱したジェントルティーチングという理念と手法を研究し実践している。これは、利用者と援助者が相互に相手を尊重し、利用者の持っている能力を引き出し、自立や充実した人生に結び付けていく。相互変容と非暴力の心理学に基づく理論である。援助者の笑顔とやさしい言葉かけ、温かいふれあいを通して、密接なかかわりの中で行われる。私は、行動障がいのある障がい児、認知症の高齢者、精神疾患のある人などが、ジェントルティーチングによるかわりを通して、不適応行動が改善し、豊かな日常生活を取り戻し、リハビリや虐待予防につながっていく様子を経験してきた。三密回避やマスク着用、ソーシャルディスタンスはやむを得ないことであるとしても、マスク越しのやさしいまなざし、思いやりのある言葉かけ、おだやかなやさしい振る舞いは、コミュニケーション手段を工夫すればできることである。聴覚に障



ジェントルティーチング創始者の
ジョン・マクギー氏と筆者

がいのある人は、口の動きや表情を読み取ることによって相手を理解するが、マスクはこれを妨げてしまう。手話通訳者は口元の見えるフェイスシールドを用いるようになった。また、テレワークやオンライン授業が人間関係の希薄化を加速させてしまう危惧もある。ホテルなどの接客業において、外国人労働者に加えて、ロボットやAIが用いられるようになった。福祉現場でも、これらが人と人のつながりをどのように変化させていくか、大きな関心を寄せている。日本には「和顔愛語（おだやかな顔つきと優しい言葉遣い）」や「目は口ほどに物をいう」という言葉がある。新しい生活様式が求められるコロナ禍だからこそ、お互いを尊重し、支え合う共生社会を築く努力が求められている。



米 ひとめぼれ
ささにしき

りんご ふじ

なし 長十郎

菅野 苹果

地方発送受承ります

園主 菅野 耕悦

岩手県奥州市江刺区愛宕字池向177番地

TEL 0197-35-1634
FAX

水沢公園
そば

無事故を願う親の心で教習する

大鐘の水沢自動車学校

http://www.mizusawa-ds.com/
奥州市水沢区大鐘町3丁目1番地 TEL0197-25-5158

✿ 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の予防 ✿



沖田 直 さん
(神経内科クリニック仙台 医師、会員、仙台市)

2019 年末に中国から始まった新型コロナの感染症 (COVID-19) が世界を席卷して、我々の生活を一変させました。COVID-19 が新しいウィルスで、誰にも抗体がないうえに、誰がウィルスを拡散しているか判らない事が多く、瞬く間に世界中に広がりました。

COVID-19 の一部は接触感染で、大部分は飛沫感染で伝染します。会話やクシャミ、咳で空中に飛び出した細かな水滴 (エアロゾル) にウィルスが付着して空中をただよい、口・鼻・目の粘膜から体内に入り、感染します。普通のエアロゾルは 2m 以上は飛びませんので、2m 離れれば、大丈夫です。

2m 以内に近づく時には感染防御が必要です。基本はサージカルマスクと手指消毒です。会話は感染を広める極めて危険な行動です。マスクはウィルスが体内に入るのを防ぐより、エアロゾルの拡散を防ぎ、人に感染させるのを抑えます。フェイスガードやマウスシールドだけでの効果は疑問です。

従来の感染症は、症状のある人から感染しますが、COVID-19 は症状の出る前から、うつります。感染者の約半分は、無症状か無症

状期の人からうつっています。症状も、他の感染症と区別が付きませんし、発熱や症状のない人も少なくありません。

コロナは誰が持っているか判らないので、人と 2m 以上離れる (ソーシャルディスタンス) か、双方でマスクをして、飛沫感染の危険を減らす事が必用です。会食や飲み会では、無防備にマスクを外して話すので、感染が拡がります。せめてマスクにかわるアクリル遮蔽板などを向かい合う人との間に設置し、換気を十分することが必要です。

接触感染は、ウィルスのついた手で顔に触ったり、触った物を食べることで起こります。接触感染を防ぐのが手指消毒ですが、マスク・手袋などの表面にもウィルスが付着している可能性があるので、注意が必要です。

人間は社会的動物と言われ、群れをなして、言語で情報を共有して、集団で生活してきました。COVID-19 は、このような行動で感染が拡がる始末の悪い感染症です。みんなの協力で終息させましょう。

编者より

筆者から「次の QR コード又は URL (インターネット上のサイト) を開いてビデオを見ていただければ、細かな光るエアロゾルが会話でいっぱい飛ぶ様子と、マスクで抑えられるのが判ります。」とのご紹介がありましたので、スマホなどをご覧ください。

QR コード



URL <https://www.nejm.org/doi/full/10.1056/NEJMc2007800>

俳句みらい

共鳴句鑑賞

副会長 岩渕 正力



◎夕顔に熨斗に友の名毛筆なり

百合買って妻の命日お供えす

コスモスを囲む蝶蝶飛んでおり

評
夕顔の実に熨斗を掛け、それに毛筆で贈り主の名前が書いてあったという句意であろう。やってくるじゃないかと受け取り側はほくそ笑む。

高橋 小秋



◎手に止まり「おはつ」と挨拶赤とんぼ

海原や一本松と吾の秋

をとこへし夫の実家のみちみちに

中村

セイ子



評
赤トンボの人なつっこさが中七でうまく描かれている。指に止めて孫に見せたりする。

◎空蟬や後ろファスナー閉められず

露草の藍極まれり明けの雨

自動ドア開きて匂ふ百合の花

評
空蟬の背中割れから後ろファスナーの連想がおもしろい。おもしろいと言っては難儀している本人に失礼か。閉めてあげましょうか。

菅原 節子



◎秋場所や横綱休み若手かな

新総理コロナ対決秋たかし

彼岸花眺め腰痛車椅子

評
両横綱不在のさびしい秋場所を翔猿、正代、貴景勝、若隆景、阿武咲らが盛り上げた。

小野寺 喜美治



◎栗拾ひ後ずさりして木を見上ぐ

月上る田毎に落し水の音

きゅつと鳴る大人の声の秋茄子

評
私の体験からすると、あまり地面に栗が落ち

佐々木田三男



てなかったのではなからうか。それで、後ずさりしてまだ早いのか、成りが悪いのか確かめたのではなからうか。

◎朝涼や付かず離れず散歩道

種田 勝

夏の果山の出湯に足伸ばす
魂魄の満つる空より星流る

評 何もかもコロナと結び付けなくてもいいだろうが、時節がらつい、結び付けたくない。

中七の表現からそう思ってしまう。マスクして、朝のおいしい空気を存分に吸うことも出来ず。早期終息を願うのみである。三句目も格調高い。

◎手を叩きリズム取る子や秋澄めり

鈴木 正子

山鳩のけだるき声や秋暑し

いわし雲遺されて知る交友録

評 コロナ禍で「不要不急」などというわけの

わからない言葉でしばられた子供たちが気の毒だった。こんな句に出会えるとホッとすると子供たちの元気な姿を見ると元気をもらう。



◎ほまち田に糯七本の穂堆立つ

渡辺 タエ子

産直で木通バナナと指さす子

妹の無言の帰宅秋桜

評 ほまち田とは隠し田、へそくりのことである。

太閤検地や国土調査であばかれたはずだが。穂堆

といっても丈三杭(编者注:1丈3尺の長さの杭)

から半分の七尺ぐらいの杭とでは違うが、七尺ぐらいだったら、三畝ぐらいの田んぼか。60k二表ぐらいか(编者注:杭の長さとは本数から稲の収量が推定できるとの意)。二句目、おもしろい。

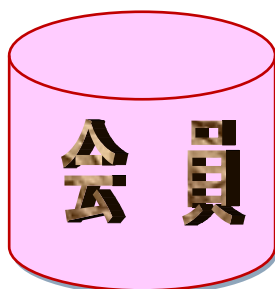
近 詠

経聴かず随時散会そぞろ寒む 正力



お詫びと訂正(編集事務局の転記誤り)

前号の種田勝氏の俳句のうち、「端井して深まる闇のしじまかな」は、「端居して深まる闇のしじまかな」の誤りでした。



◆ 実務家時代の思い出と現在 ◆



堤 芳夫

(元独立行政法人農林漁業信用基金理事長、東京都練馬区)

農林中央金庫での 33 年 3 カ月、子会社での 1 年 9 カ月、独立行政法人農林漁業信用基金での 13 年、通算 48 年にわたるサラリーマン生活が半年後に終了するという 3 年前、それまで与えられた仕事は一生懸命取り組んだつもりであったが、最も心血を注いだ仕事はなんであったかを考えてみました。強く印象に残っているのは、2 つの特別法の立法に関与した仕事でした。

第 1 の特別法は、農林中央金庫の部長代理時代に取り組んだ自己資本比率規制に伴う自己資本調達手段の多様化に関するものでした。協同組織金融機関においては、自己資本調達手段が、会員からの出資に限定されています。協同組合の特性と齟齬をきたさない出資を検討することが私の仕事でした。1 年ほどかけて、海外の事例も踏まえ、会員以外の者から出資を受け入れる仕組みをまとめました。それは、議決権はな



農林中央金庫

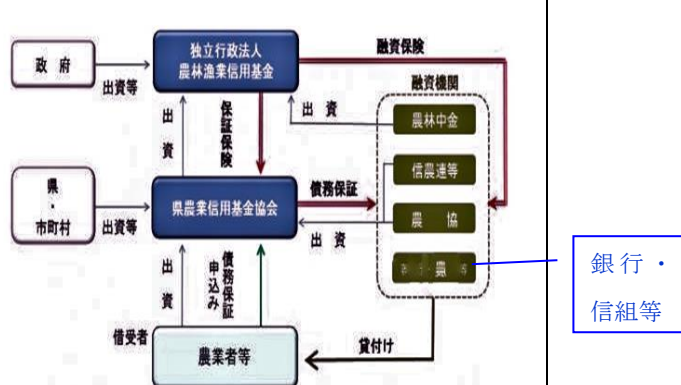
いが、配当について優先的内容を有する出資（優先出資制度）でした。この優先出資制度を法制化するための運びをどうするかが難題でした。商法学者の指導を得るとともに他の協同組織金融機関（信用金庫、信用組合、農漁協）との共同研究会を立ち上げました。同時に主務省への要請活動も展開しました。私は、事務局としてすべての場に関与しました。5 年後に多くの人の努力と協力で、「協同組織金融機関の優先出資に関する法律」が成立しました。

第 2 の特別法は、独立行政法人の理事長時代に取り組んだ独立行政法人の特殊会社化に関するものでした。民主党政権時代に農林漁業信用基金については独立行政法人から特殊会社に移行することが決定されました。主務省である農水省の局長（優先出資制度の法制化時の担当課長補佐）から私に、立法の陣頭指揮をとるよう要請がありました。特殊会社化の立法事例、保証保険業務の特性からくる特別の規定等について

本稿の画像は、編集事務局が挿入しました。

詰めた作業が行われました。法務省民事局や財務省主税局との調整等、法制化は困難を極めました。株式会社農林漁業信用基金法（案）は、内閣法制局の法律審査を終え、閣議決定を待つだけになりました。そのとき、国会が解散され民主党は選挙に敗北しました。その結果、信用基金の株式会社への移行は見送られましたが、内心はほっとしました。

この 2 つの特別法の立法の経験により、私は、法律学・立法学に強い関心を持つようになり、信用基金退職後は徹底的に民法・民事訴訟法など私法の勉強をしたいと思いました。ちょうどその頃、優先出資制度法制化で指導をいただいた K 教授にたまたま出会いました。K 教授の強い勧めと配慮により大学の社会人向け講座に籍を置くことができました。授業では、担当教授から、随時、実務家の観点から意見を求められ、事前の準備は大変ですが、理論と実務の緊張関係に「快感」を覚えます。また、学生の就職相談にものることとなり、学生との対話が楽しくなりました。もっとも今年は新型コロナウイルスのため、授業はオン・ラインで行われることとなり、学生との対話ができないのが寂しいかぎりです。



また、3 年前に、妻の父が 97 歳で亡くなりました。義父の残した膨大な著書と書籍を整理することとなりました。義父は役人でありましたが、漁業経済史の研究者でもありました。義父の主著である『日本漁業経済史序説』は農林省に入省間もない昭和 24 年に出版され、日本の資本主義の発達過程において、漁業の資本主義化を進めたのは、マニファクチャラー的漁業であると主張しました。当時、論争を引き起こし、漁業経済史の研究史において名著とされています。戦後間もない頃の研究ですので講座派マルクス主義の立場で論述されており、私にとっては、難解で、内容の正確な理解に苦勞しています。そのため、著書や書籍の整理がなかなか進まないのが悩みの種です。

税務分野別に特化した専門チーム・総合力 NO.1 の 辻・本郷 税理士法人

代表社員 本郷 孔洋 (岩手県一関市出身)

税務顧問・相続・事業承継・公会計など
タイムリーにサービス提供いたします。

辻・本郷 税理士法人 盛岡支部
〒020-0021
岩手県盛岡市中央通2-11-18 明治中央ビル5階
☎ 0120-10-0606
URL <http://www.ht-tax.or.jp/> 辻・本郷 検索

いわて平成松平村塾
第八期(令和3.1-38)
塾生募集中!!!

これまでの七期で 7 市町村 18
名の塾生が巣立ちました。1 名が
県議、3 名が市議として活躍中。

いわて未来研十年を振り返って③

★ いわて平成松下村塾開塾の発表(記者会見)

平成 22 年 11 月 18 日(木)、いわて未来研事務所(水沢自動車学校内)において、塾頭の相原会長、講師の佐藤邦夫氏(奥州市議)、佐藤淳氏(青森中央学院大専任講師)、前田正二氏(IBC アナウンス学院講師)が出席し、記者会見が行われました。

いよいよ翌年 7 月に第 1 期スタートとなりました。



前田 佐藤(淳) 佐藤(邦) 相原

★ 県南広域振興局長との初めての意見交換会

平成 22 年 12 月 12 日(日)、会員等 30 人余が参加し、藤尾善一県南広域振興局長との意見交換会が行われました。

藤尾局長から「県行政と地域の発展—地域経済・雇用など」についてお話しいただき、会員から、「市町村合併」、「岩手競馬問題」など多くの質問・意見が出されました。



意見交換会

★ 平成 23 年度通常総会で NPO 法人移行決議、9 月には法人化

平成 23 年 6 月 19 日(日)に開催された通常総会において、NPO 法人(特定非営利活動法人)への移行が承認され、その後の手続きで、同年 9 月 22 日に市長の認証を受け、同 28 日には登記を行って正式に法人となりました。

祝 NPO 法人移行

★ いわて平成松下村塾第 1 期スタート

平成 23 年 7 月 9 日(土)、いわて平成松下村塾第 1 期の入塾式が行われました。入塾生は、20 代から 60 代までの男性で、奥州市 5 人、一関市 1 人、岩手町 1 人の合計 7 人です。場所は水沢自動車学校会議室。この日を皮切りに延べ 5 日間、13 単位時間にわたり、上述の講師陣によって、「政策・政治・選挙等」、「演説・発声・発音等」、「立志研修」等が行われました。



入塾式

★ 会員数 320 人に達する！

平成 24 年 2 月、いわて未来研会員数が、発足(239 個人・法人)以来最高の 320 人に達しました。

会員数が
320 人に！



いわて未来研創立十周年



記念式典、講演会、食事会 ご案内

創立十周年記念式典

令和 2 年 11 月 28 日(土)
午後 3 時～午後 3 時 50 分

記念講演会

同 日
午後 4 時～午後 5 時 20 分

記念食事会

同 日
午後 5 時 30 分～

プラザイン水沢
(奥州市水沢)

申込み

同封の様式により、
ファックス、郵便、電
話、メール等により、
11 月 16 日(月)までに
参加申込みください。



創立十周年記念式典



- 1 開 会
- 2 式 辞 いわて未来研会長
- 3 感謝状贈呈並びに表彰
 - ※ 会長からそれぞれの代表者に賞状(額縁入り)を授与
 - ※ 感謝状贈呈は 9 名、表彰(会員)は 35 名…次号会報で紹介
- 4 謝 辞
 - ※ 代表者から
- 5 祝 辞 奥州市長
- 6 祝電披露
- 7 閉会

新型コロナウイルス対策—講演会・食事会と基本共通

- 1 検温の上マスク着用、手指消毒で入場
 - ※ 発熱(37.5 度以上)の方は参加をお見合せ下さい。
- 2 座席は、教室式配置のテーブルに隣同士が 1m の間隔で着席
- 3 演壇付近にアクリル板設置、マイクはその都度消毒

記念講演会

講 師

啄木研究家・啄木ソムリエ

山本 玲子 氏

元石川啄木記念館学芸員、IBC ラジオ「石川啄木うたごよみ」(毎週土曜日午前 7 時 10 分)、NHK ラジオ「まじえ 5 時」に出演中。1992 年に岩手日報文学賞「随筆賞」を、1997 年に「NHK 東北ふるさと賞」を受賞。著書に『花と香りと女のくらし』『啄木うたごよみ』『啄木うた散歩』『啄木の妻・節子』『拝啓啄木さま』『夢よぶ啄木、野をゆく賢治』(共著)『啄木と明治の盛岡』(共著) 他がある。



演 題

「一握の砂を示しし人」

今年は歌集『一握の砂』発刊 110 年(明治 43 年 12 月 1 日発刊)の年にあたり、同時に『遠野物語』も発刊 110 年になりますので、啄木と佐々木喜善との交友関係にも触れたいと思います。お話しの中心は「啄木に〈一握の砂〉を示した人は誰か」という内容にしたいと考えております。(山本)

参加者

会員、参加希望の住民。入場無料

記念食事会

内 容

- ① 講師を囲んでの食事会です。
- ② アルコール・ソフトドリンクについては、今回無しとなります。

会 費

会費 2,000 円

運 営

- ① 食事会開会前にマスク着用での交流タイムを設けます。
- ② 座席はテーブルをコの字型に配置し、席同士は 1m の距離を取ります。
- ③ 開始後は、会話は控え目にして頂き、司会の指名により壇上で順次行われる挨拶や自己紹介等を聞きながら食事をして頂きたいと思ひます。



最終頁(P18)―別掲